

鋁工業指数参考図表集
(平成29年4月速報)

平成29年5月31日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年4月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

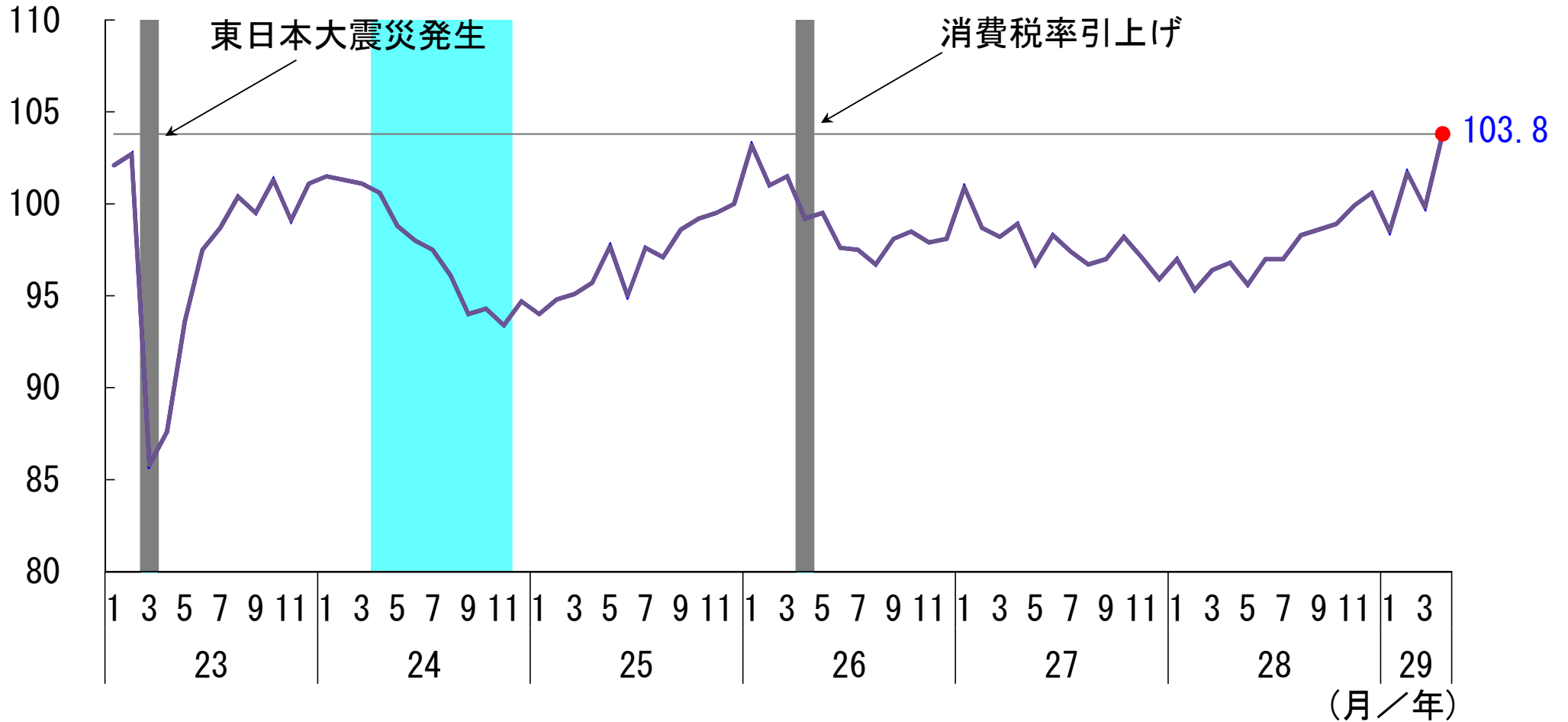
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	103.8	101.1	111.3	114.7
前月比	4.0%	2.7%	1.5%	2.9%
指数水準	H20.10 107.4以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H26.3 101.5以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H28.6 112.4以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H28.7 116.1以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月ぶり+ (H29.2以来)	2か月ぶり+ (H29.2以来)	5か月連続+ (H28.12~当月)	2か月連続+ (H29.3~当月)
前月比幅	H23.6 4.2%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H27.1 3.5%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H29.3 1.5%以来 (超)H28.3 1.6%以来 I H23.5 4.7% II H24.3 2.5% III H22.12, H23.4 2.3%	H27.8 3.2%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	5.7%	4.9%	-1.1%	-1.1%
前年同月比の動き	6か月連続+ (H28.11~当月)	6か月連続+ (H28.11~当月)	11か月連続- (H28.6~当月)	6か月連続- (H28.11~当月)
前年同月比幅	H26.3 7.4%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H28.11 5.0%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H29.3 -4.0%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H29.3 -5.1%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

(注) I~Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- ・平成29年4月の鋳工業生産指数は、103.8(前月比4.0%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成20年10月の107.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。

平成29年4月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- 平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- 平成27年8月
「生産は弱含み」
- 平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- 平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- 平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- 平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

鉱工業生産指数

四半期ベース
(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成28年 I 期	96.2	-0.9
II 期	96.5	0.3
III 期	98.0	1.6
IV 期	99.8	1.8
平成29年 I 期	100.0	0.2
II 期	(102.7)	(2.7)

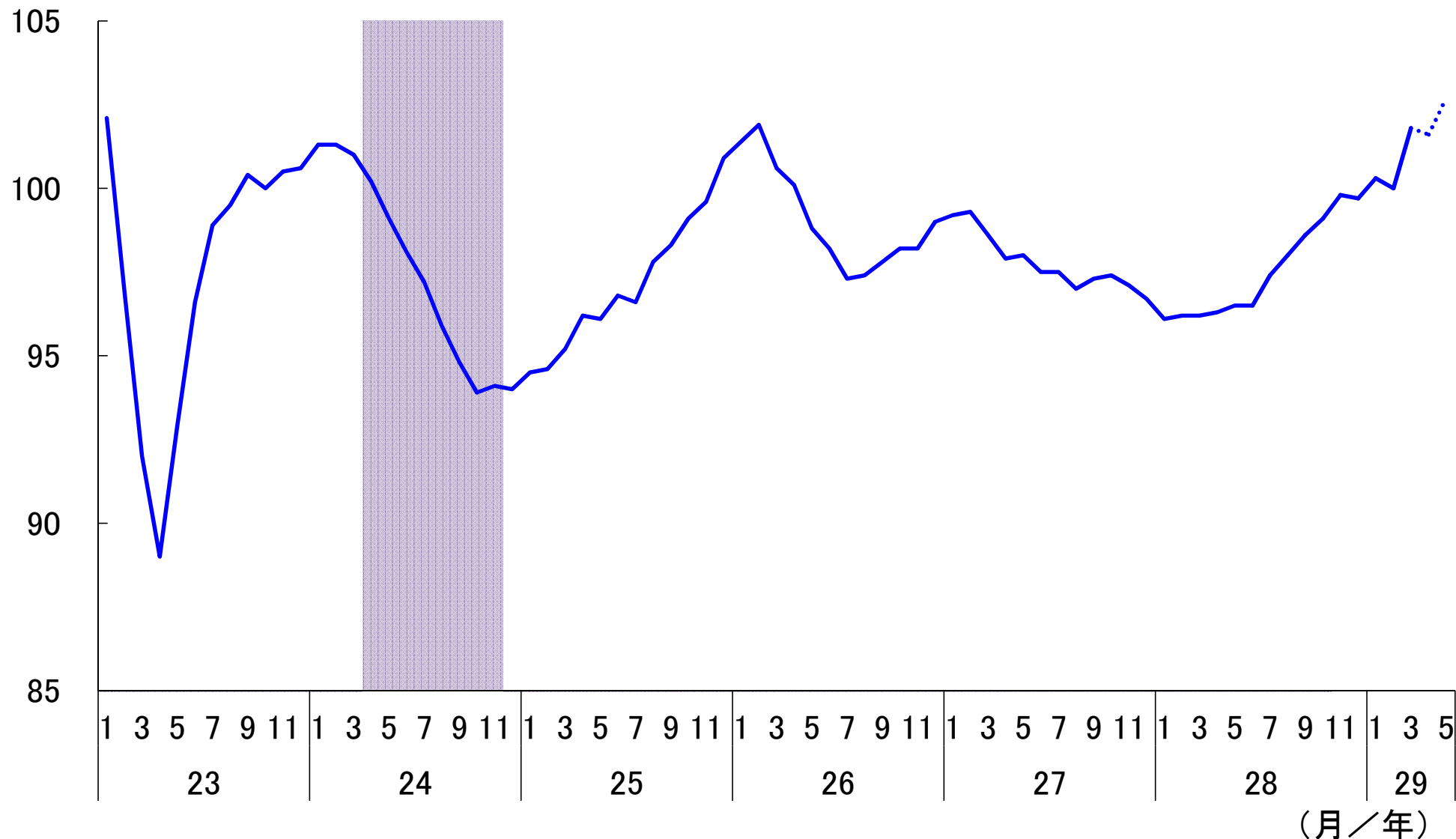
月次(3か月移動平均値)ベース
(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前月比 (%)
平成27年 5月	98.0	0.1
6月	97.5	-0.5
7月	97.5	0.0
8月	97.0	-0.5
9月	97.3	0.3
10月	97.4	0.1
11月	97.1	-0.3
12月	96.7	-0.4
平成28年 1月	96.1	-0.6
2月	96.2	0.1
3月	96.2	0.0
4月	96.3	0.1
5月	96.5	0.2
6月	96.5	0.0
7月	97.4	0.9
8月	98.0	0.6
9月	98.6	0.6
10月	99.1	0.5
11月	99.8	0.7
12月	99.7	-0.1
平成29年 1月	100.3	0.6
2月	100.0	-0.3
3月	101.8	1.8
4月	(101.6)	(▲0.2)
5月	(102.7)	(1.1)

(注)
上記の平成29年II期の()及び
右表の平成29年4月、5月の()
内の数字は、製造工業生産予測指
数の伸び率をそのまま鉱工業生産
指数の最新月に適用して、機械的
に計算したものである。製造工業
生産予測指数は、鉱工業指数の対
象のうち一部の企業に対して、今
後の生産計画を調査したもの

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	10.8%	53.5%
	品目	乗用車	14.9%	28.1%
		自動車部品	11.1%	19.4%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	9.2%	33.4%
	品目	土木建設機械	12.6%	5.2%
		半導体・フラットパネル製造装置	8.8%	4.0%
3位の業種	電子部品・デバイス工業	5.2%	11.1%	
品目	集積回路	10.8%	8.7%	
	電子部品	3.5%	3.7%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	情報通信機械工業	-1.3%	-0.8%
	品目	通信機械	-10.0%	-1.4%
		その他の情報通信機械	-16.7%	-0.7%
	2位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-1.0%	-0.5%
	品目	紙	-2.0%	-0.3%
		板紙	-0.4%	0.0%
3位の業種	石油・石炭製品工業	-1.1%	-0.4%	
品目	石油製品	-1.9%	-0.7%	
	石炭製品	-0.8%	0.0%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注) 全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年4月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	14.9%	28.1%
	2位	自動車部品	11.1%	19.4%
	3位	集積回路	10.8%	8.7%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	生活関連産業用機械	-14.3%	-2.1%
	2位	通信機械	-10.0%	-1.4%
	3位	建設用金属製品	-7.1%	-1.4%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.9%	36.6%
		シャシー・車体部品	22.1%	8.0%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	22.0%	6.0%
資本財 （除．輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除．輸送機械）	7.5%	28.5%
		ショベル系掘削機械	15.2%	4.8%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	25.5%	1.9%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	8.1%	20.9%
		普通乗用車	17.6%	21.2%
		小型乗用車	7.6%	2.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.0%	3.7%
		クレンジングクリーム	37.8%	1.9%
		合成洗剤	7.1%	1.2%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	2.2%	3.0%
		プラスチック製パイプ	19.4%	0.6%
		ガス風呂がま	7.8%	0.5%

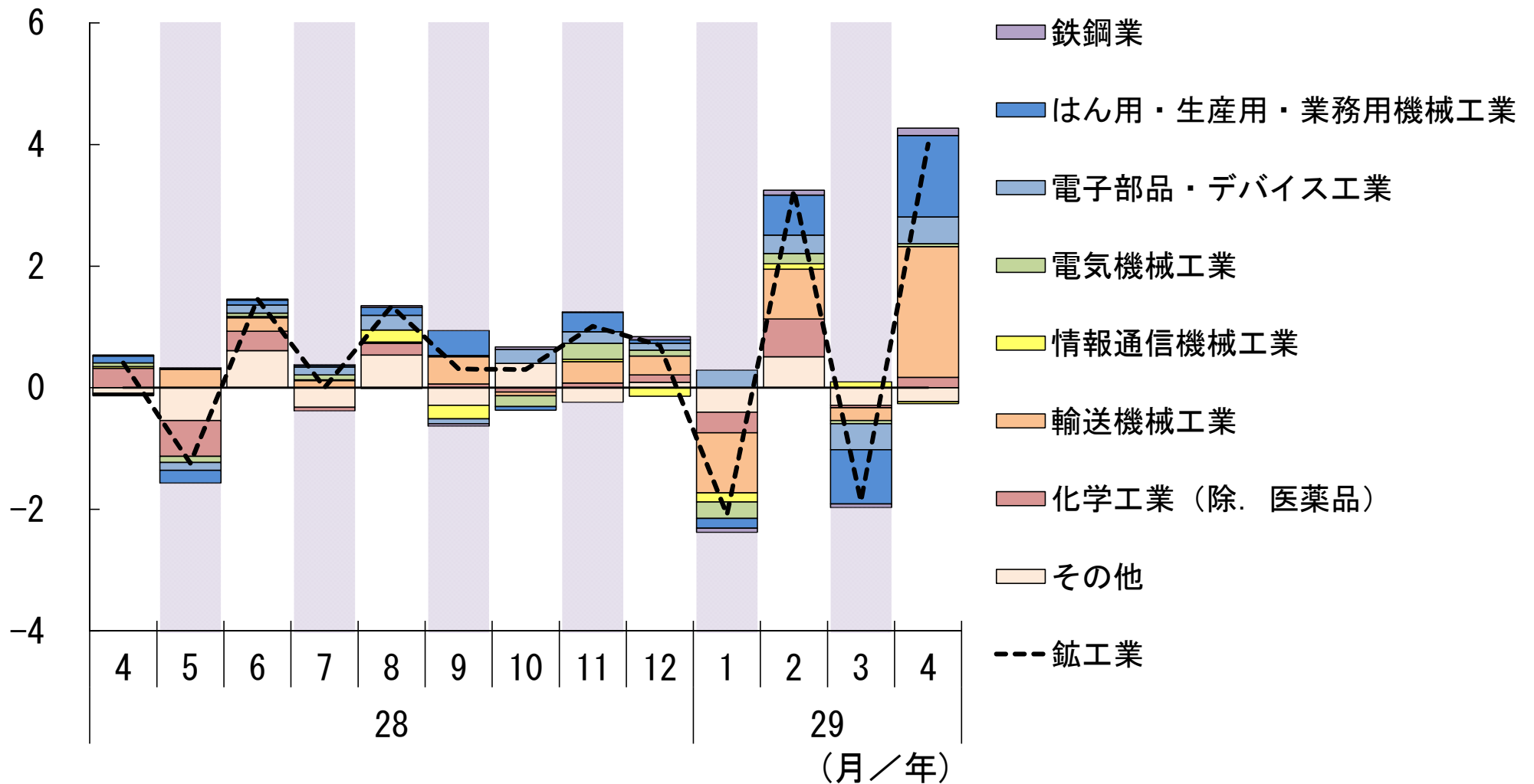
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注) 全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

平成29年4月の生産指数は、情報通信機械工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比4.0%の上昇。

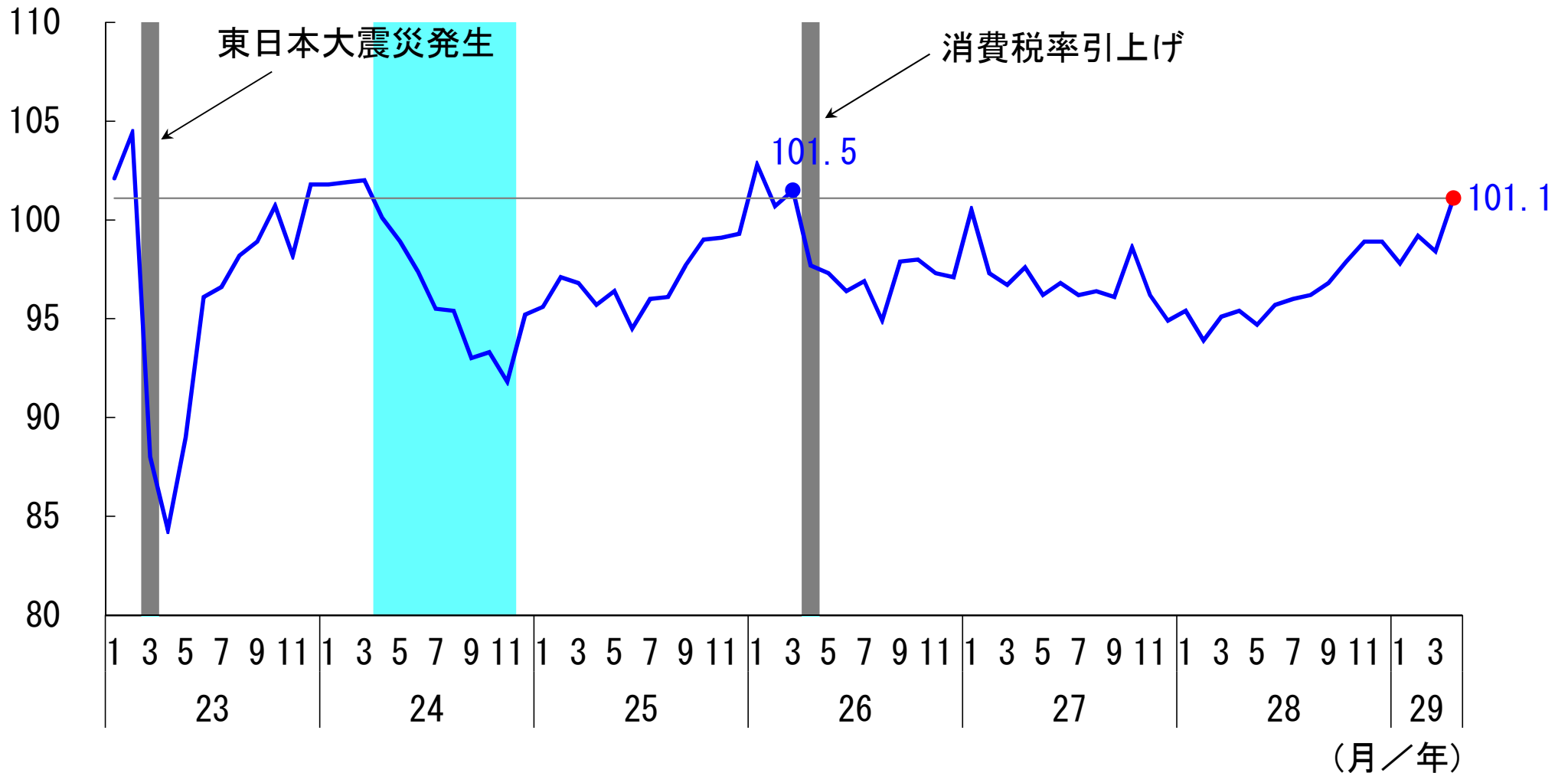
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉛工業出荷指数の動向

- ・平成29年4月の鉛工業出荷指数は、101.1(前月比2.7%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成26年3月の101.5以来の指数水準。

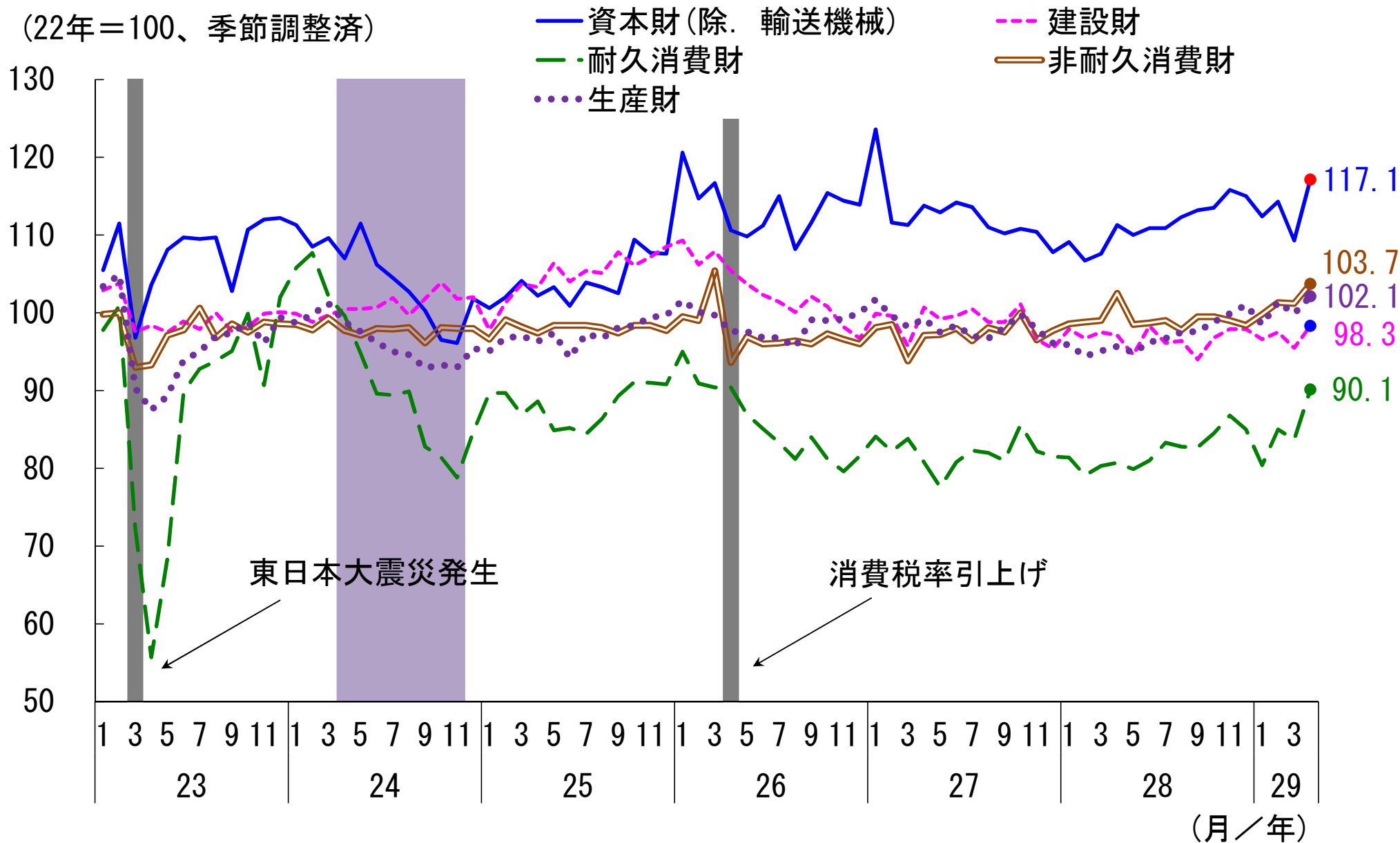
(22年=100、季節調整済)



(注) 水色のシャド一部分は、景気後退局面。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年4月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

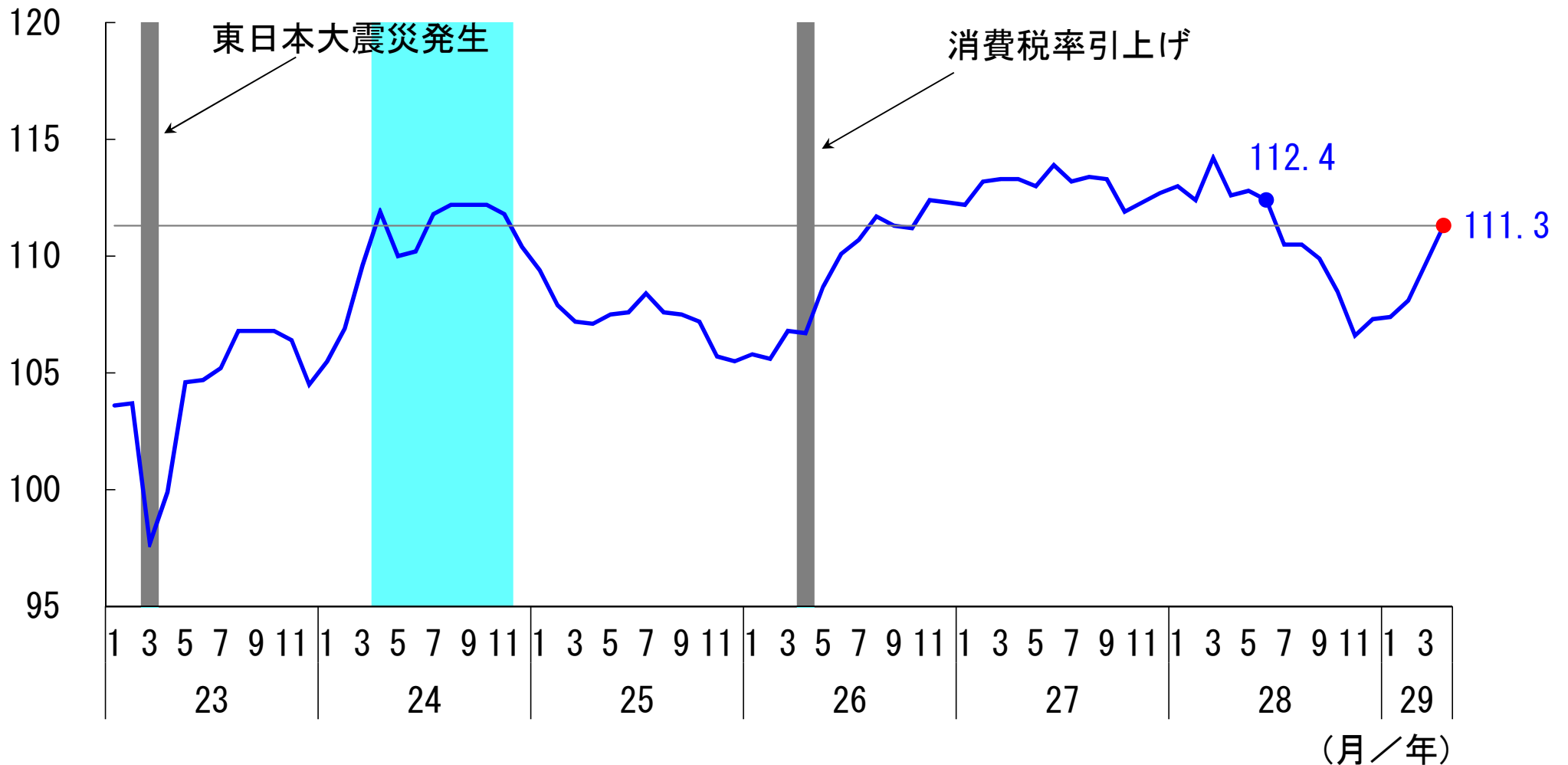
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.2%	41.0%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	20.4%	10.9%
		シャシー・車体部品	18.4%	9.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	7.6%	36.1%
		普通乗用車	4.7%	11.9%
		携帯電話	58.9%	7.0%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	7.1%	34.0%
		ショベル系掘削機械	16.7%	8.9%
		一般用蒸気タービン	838.9%	8.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.5%	10.8%
		美容液	25.1%	2.4%
		合成洗剤	6.9%	1.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	2.9%	5.7%
		プラスチック製パイプ	21.9%	0.7%
		H形鋼	12.2%	0.7%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成29年4月の在庫指数は、111.3(前月比1.5%)と5か月連続の上昇。
- ・平成28年6月の112.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

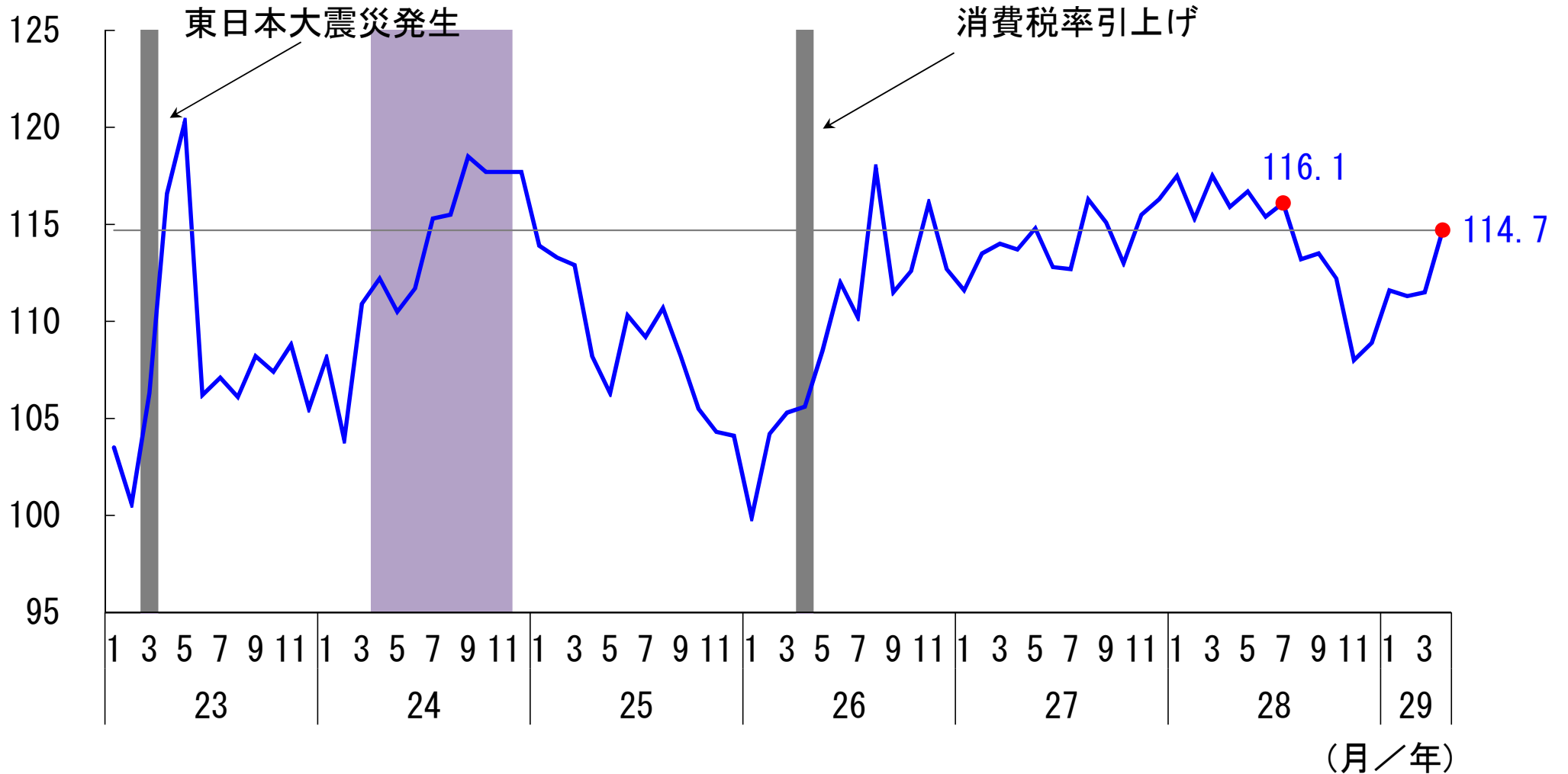


(注) 水色のシャド一部分は、景気後退局面。

鉱工業在庫率指数の動向

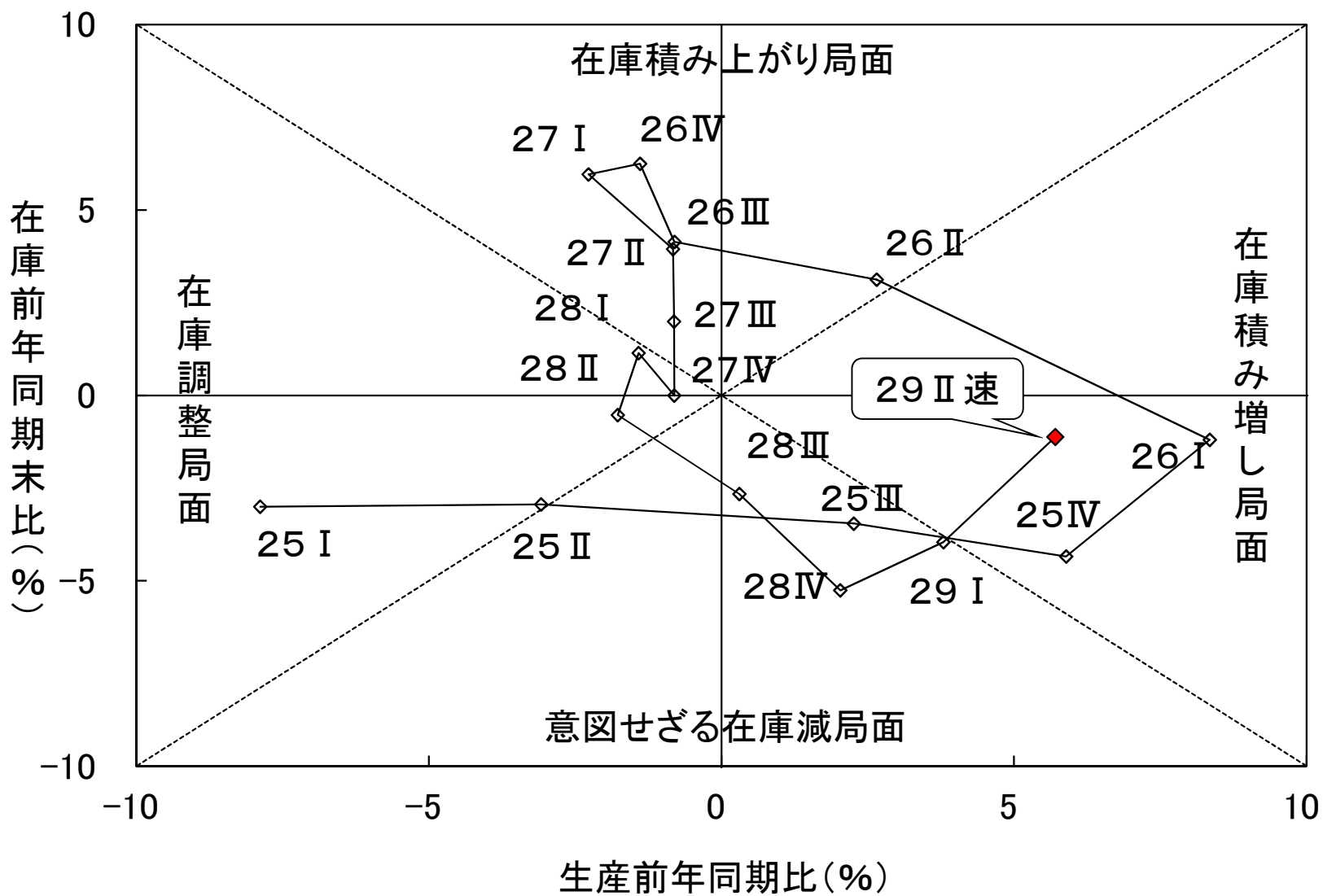
- ・平成29年4月の在庫率指数は、114.7(前月比2.9%)と2か月連続の上昇。
- ・平成28年7月の116.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

鋳工業の在庫循環図



(注) 「29 II 速」の生産は4月の値、在庫は4月末の値を使用。

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）

